

•
•
•
•
•
•
•
•
•
•
•

関東天然瓦斯開発株式会社 決算説明会



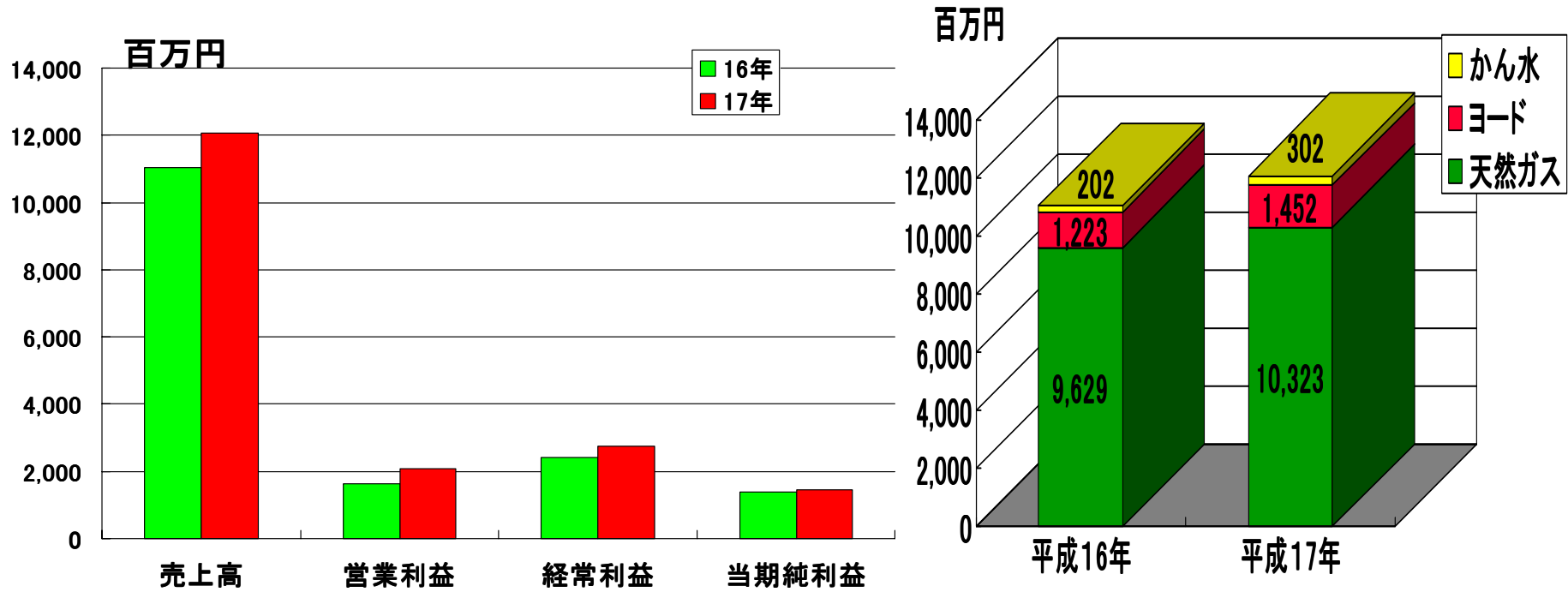
第144期期末
平成17年1月1日～12月31日
平成18年2月24日開催

<http://www.gasukai.co.jp/>

• • • • • • • •

-
-
-

平成17年決算 《単体》

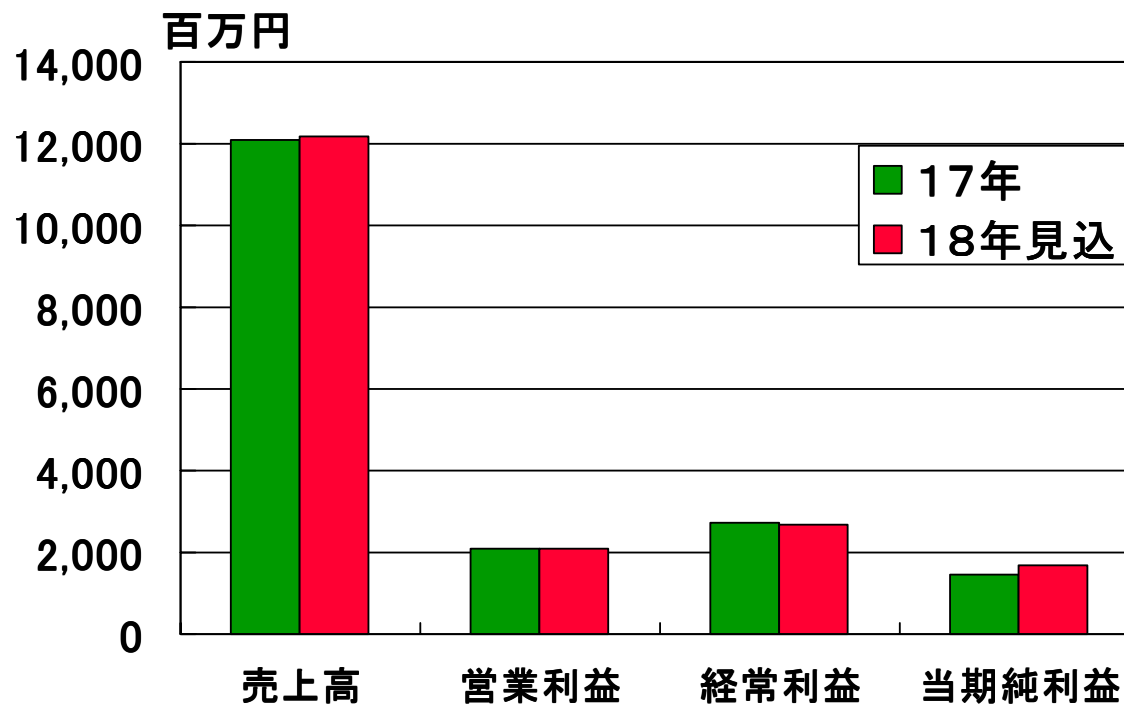


単位：百万円

	売上高	(天然ガス)	(ヨード)	(かん水)	営業利益	経常利益	当期純利益
16年	11,055	9,629	1,223	202	1,643	2,411	1,397
17年	12,078	10,323	1,452	302	2,070	2,737	1,461
対前年比(%)	9.3	7.2	18.7	49.6	26.0	13.5	4.6

-
-
-
-
-
-
-
-

平成18年収支見込概要《単体》



- ・ 売上高：
ガス...販売量、売上高とも僅かに減少
ヨード...販売量は当期並
価格は上昇
- ・ 営業利益：微増
- ・ 経常利益：有価証券利息等の減少で微減
- ・ 当期純利益：固定資産減損見込まず増益

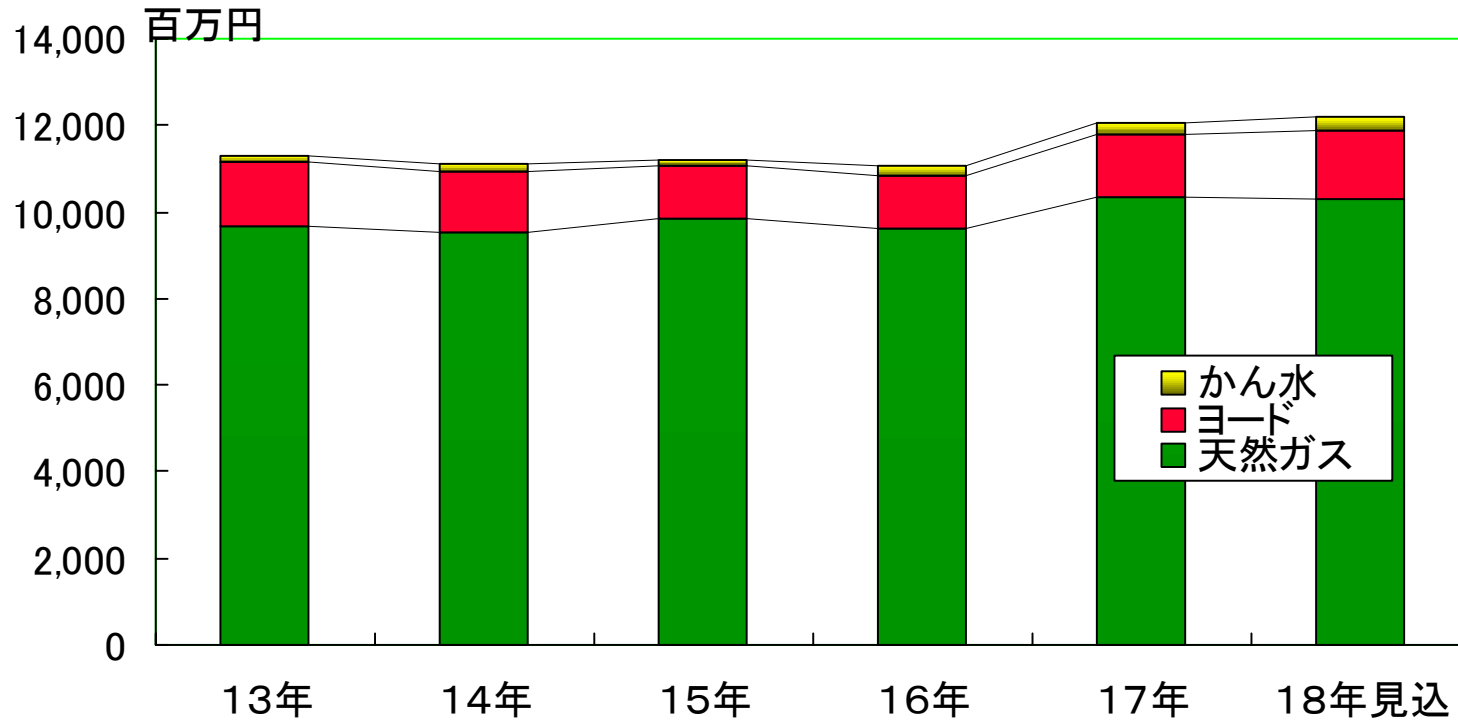
・ 為替 115 円/\$
(17年実績：109 円/\$)

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
17年	12,078	2,070	2,737	1,461
18年見込	12,200	2,100	2,700	1,700
対前年比(%)	1.0	1.4	△ 1.4	16.3

-
-
-

売上高の推移 《単体》



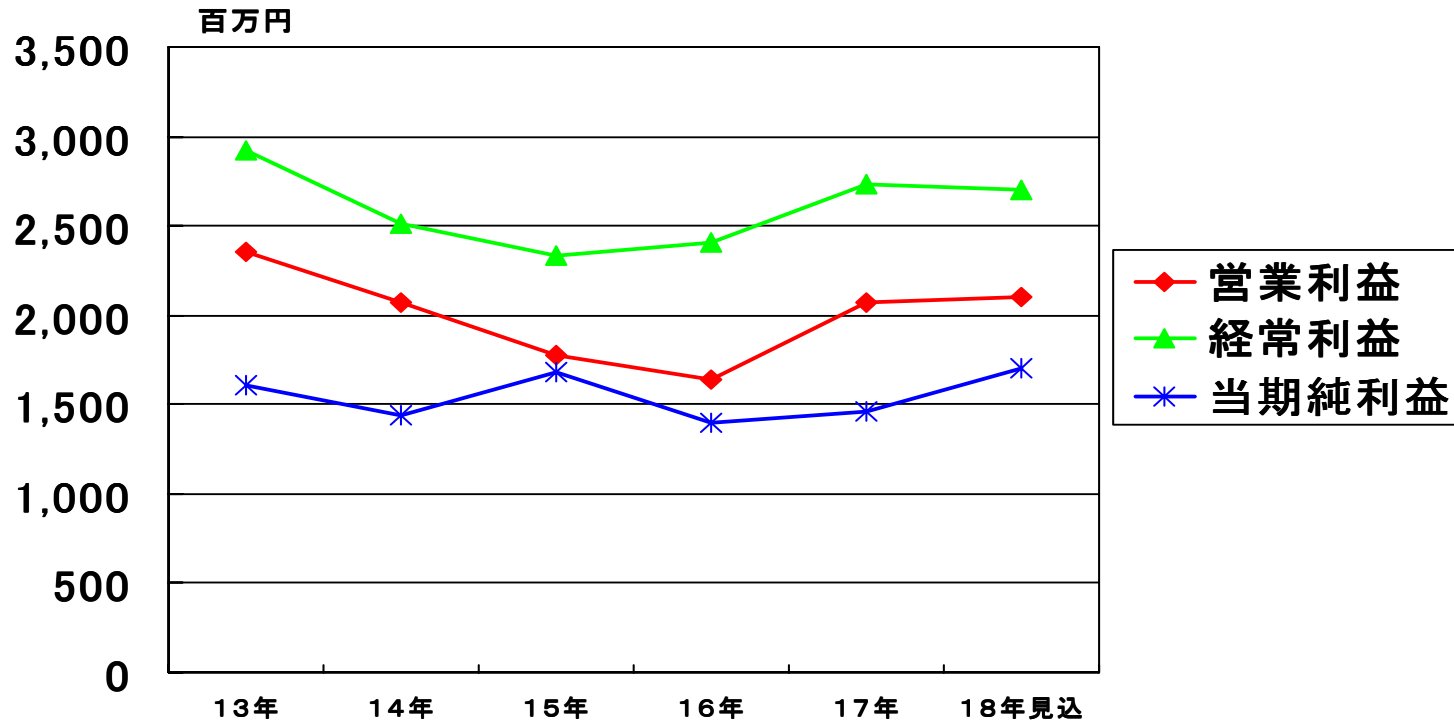
単位：百万円

区 分	第140期 13年	第141期 14年	第142期 15年	第143期 16年	第144期 17年	第145期 18年見込
売上高	11,297	11,099	11,221	11,055	12,078	12,200
天然ガス	9,679	9,514	9,854	9,629	10,323	10,300
ヨード	1,456	1,427	1,215	1,223	1,452	1,600
かん水	160	157	152	202	302	300

-
-
-
-
-
-
-
-

-
-
-

利益の推移 《単体》

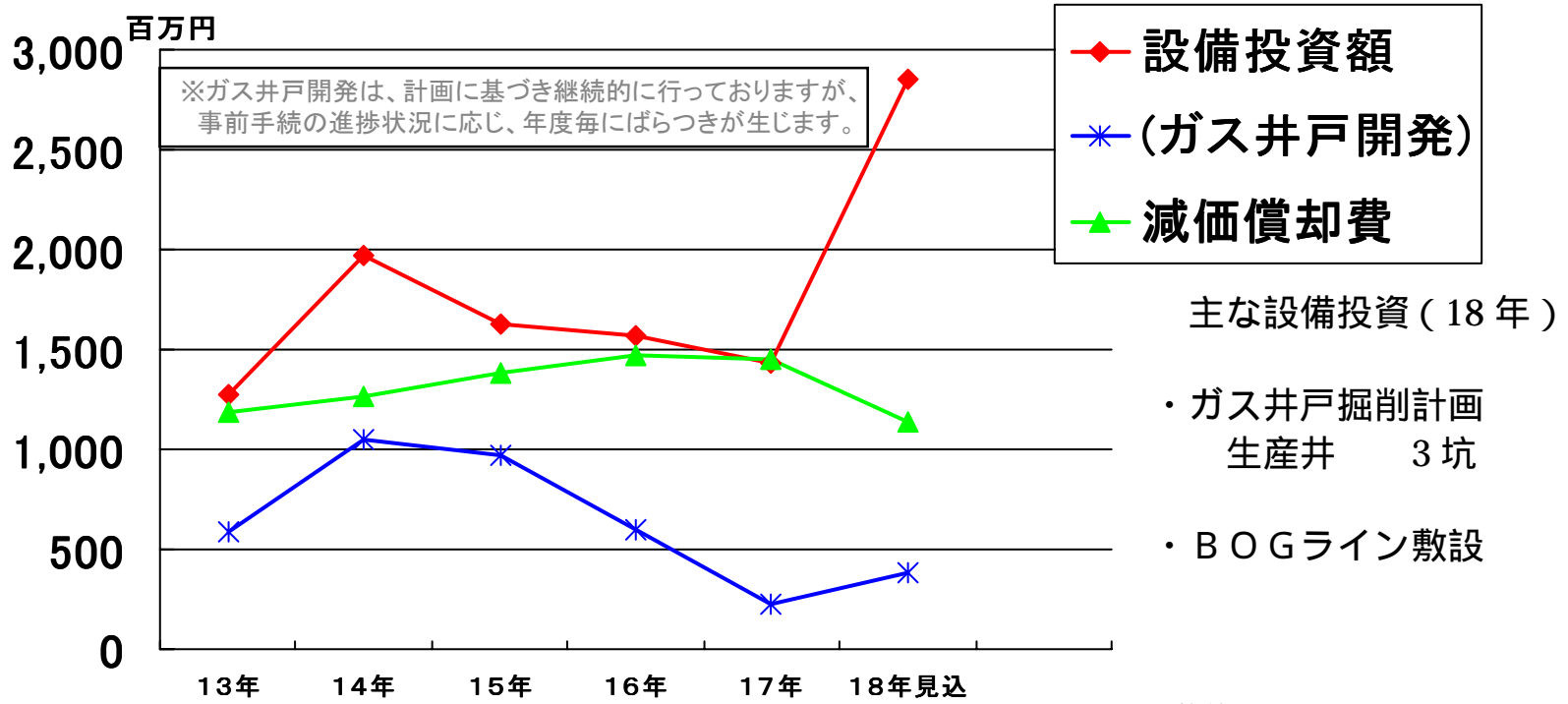


単位：百万円

区 分	第140期	第141期	第142期	第143期	第144期	第145期
	13年	14年	15年	16年	17年	18年見込
営業利益	2,350	2,069	1,773	1,643	2,070	2,100
経常利益	2,927	2,508	2,330	2,411	2,737	2,700
当期純利益	1,607	1,438	1,679	1,397	1,461	1,700

-
-
-

設備投資・減価償却費の推移 ‹‹ 単体 ››



単位：百万円

区 分	第140期	第141期	第142期	第143期	第144期	第145期
	13年	14年	15年	16年	17年	18年見込
設備投資額	1,273	1,969	1,632	1,569	1,436	2,850
(ガス井戸開発)	590	1,052	974	597	223	383
減価償却費	1,189	1,267	1,382	1,471	1,455	1,140



-
-
-

生産量、販売量の推移

区 分		第140期	第141期	第142期	第143期	第144期	第145期
		13年	14年	15年	16年	17年	18年見込
天然ガス	生産量(千m ³)	172,719	169,634	172,624	172,244	181,542	184,000
	販売量(千m ³)	266,102	276,001	280,437	277,860	291,593	289,000
ヨード	生産量(t)	779	757	743	630	403	385
	販売量(t)	985	1,008	934	896	947	947
かん水	生産量(千kl)	15,603	15,450	15,241	15,654	16,218	16,000
	販売量(千kl)	6,522	6,437	6,246	8,059	10,995	11,100

天然ガスは、38.5MJ / m³ 換算

H16/9 より、ヨード かん水の取引を一部変更

-
-
-

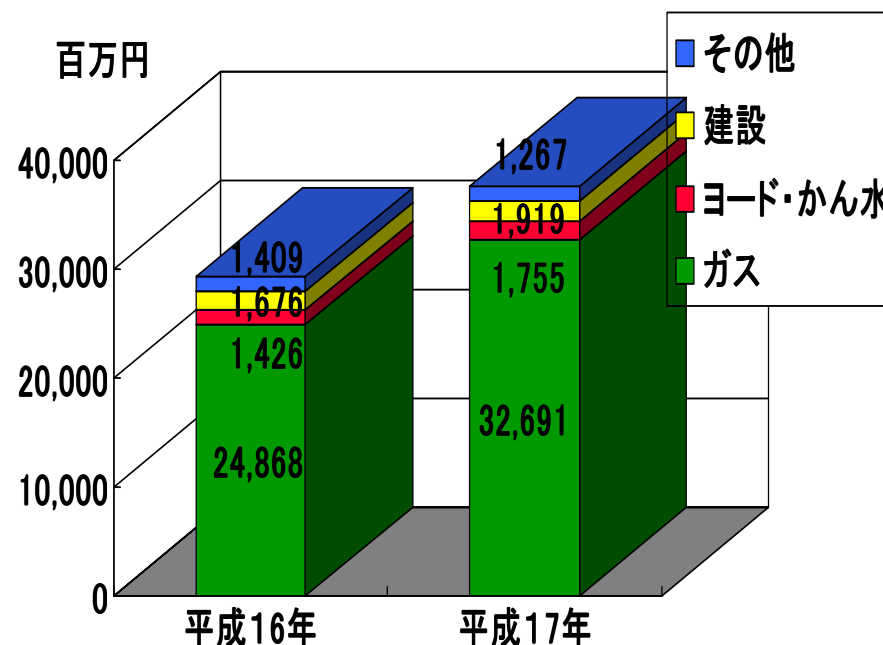
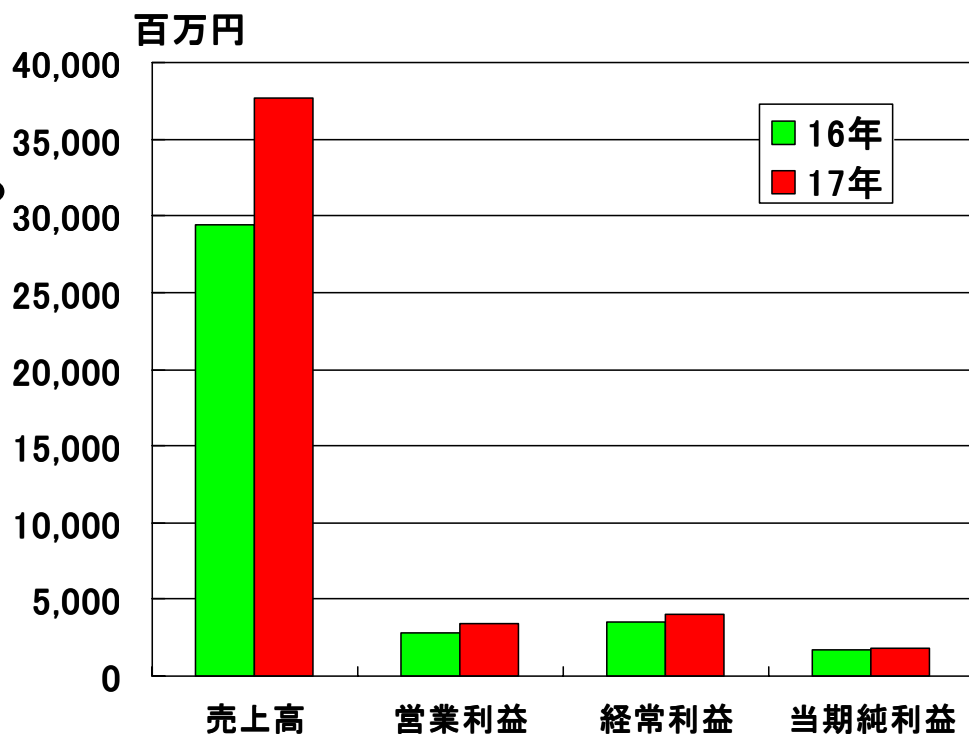
関東天然瓦斯開発(株)グループ

		関東天然瓦斯開発(株)	天然ガスの開発・販売、ヨードの製造・販売
子	連	大多喜ガス(株)	都市ガス事業
		オータキ産業(株)	圧縮天然ガス、LPG販売
	結	関東建設(株)	土木、管工事等の建設業
会	非	開発興産(株)	不動産業、リース業
	連	(株)テクノアース	さく井工事、地質・地下水汚染調査事業
	結	(株)房総コンピューターサービス	コンピューターサービス業
		KNG AMERICA,INC.	米国における石油・ガス事業
社	関	日本天然ガス(株)	天然ガスの開発・販売、ヨードの製造・販売
		京葉パイプライン(株)	ガスの託送事業
	連	(株)新栄エンジニア	工事設計等



-
-
-
-
-
-
-
-

平成17年決算 《連結》



単位：百万円

	売上高	(ガ ス)	(ヨード・かん水)	(建 設)	(その他)	営業利益	経常利益	当期純利益
16年	29,381	24,868	1,426	1,676	1,409	2,871	3,530	1,732
17年	37,633	32,691	1,755	1,919	1,267	3,377	3,995	1,816
対前年比(%)	28.1	31.5	23.1	14.5	△ 10.1	17.6	13.2	4.9

•
•
•

セグメント別売上高(対前期)

セグメント別売上高

単位：百万円

	16年	17年	比較増減
ガス	24,868	32,691	7,822
ヨード・かん水	1,426	1,755	329
建設	1,676	1,919	243
その他	1,409	1,267	△142
合計	29,381	37,633	8,252

主な変動要因

- ガス事業 売上大幅増
 - ・ 大口ガス事業者 / 大口需要家への販売が期を通じて寄与
 - ・ 冬場が低気温 家庭用等の販売量が増加
- ヨード・かん水事業 売上増
 - ・ 旺盛な需要 販売量増 / 販売価格上昇
- 建設事業 売上増
 - ・ 受注獲得努力
- その他事業 売上減
 - ・ 集合住宅向けガス器具販売減
- ・ 為替実績
109 円 / \$ 107 円 / \$



損益計算書内訳《連結》

単位：百万円

	16年	17年	増減額
売上高	29,381	37,633	8,252
売上原価	19,103	26,806	7,702
販管費	7,406	7,449	43
営業利益	2,871	3,377	506
営業外収益	768	728	△39
営業外費用	108	110	1
経常利益	3,530	3,995	465
特別利益	47	28	△19
特別損失	220	528	307
税引き前利益	3,357	3,495	138
法人税等	1,308	1,352	43
少数株主利益	315	326	10
当期純利益	1,732	1,816	84

営業利益

売上増の大半は大口向けの
ガス販売量の大幅増加
売上の割に利益は伸びず

経常利益

有価証券等利息減少
営業外収益は減少

当期純利益

・ 固定資産の減損会計
早期適用（290百万円）
前期比 4.9%増

貸借対照表内訳《連結》

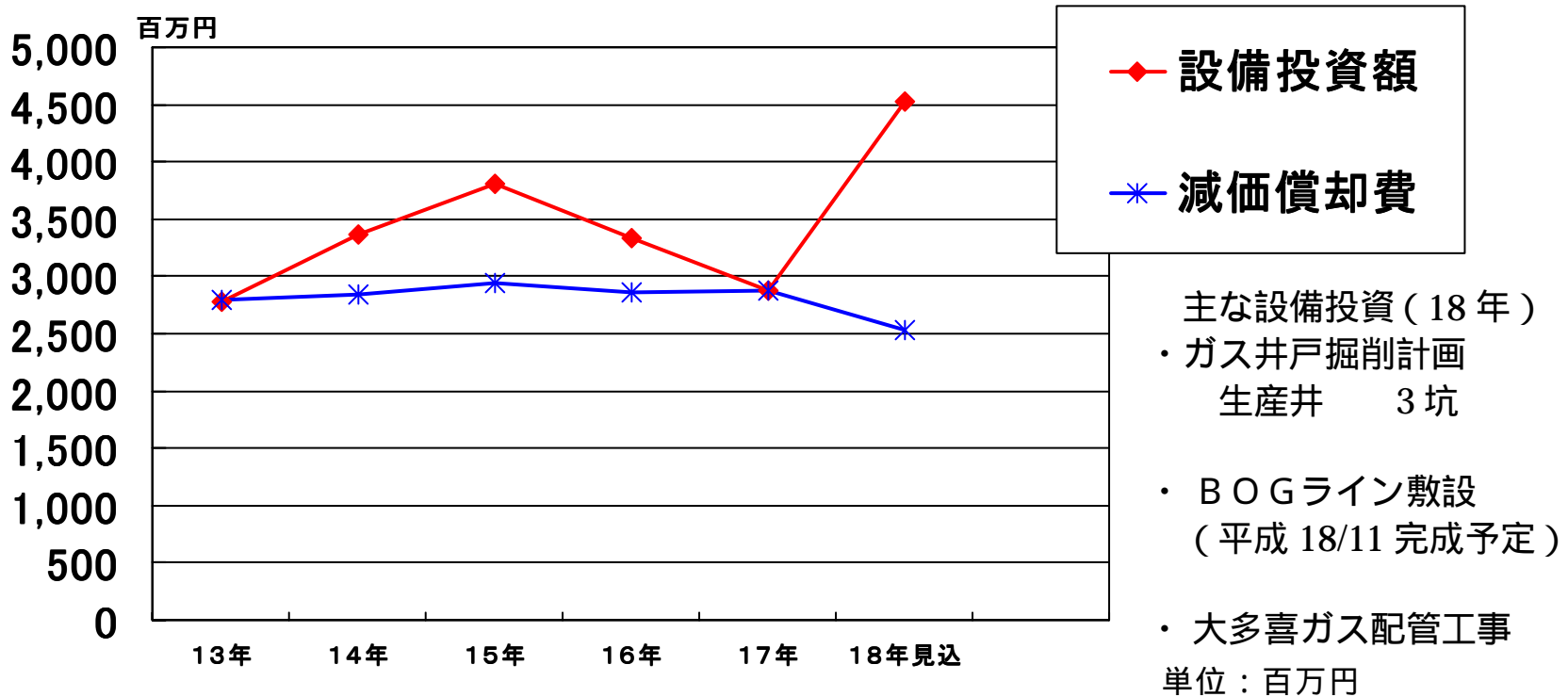
- ・現預金の増・・・期末日に回収資金が口座に残った一過性のもの
- ・投資有価証券の増・・・主に株式(銀行関係)の購入と評価差益の計上

単位：百万円

	16年12月	17年12月	増減額		16年12月	17年12月	増減額
流動資産	22,617	24,430	1,812	流動負債	7,683	8,673	989
現預金	2,706	4,048	1,341	買掛金・未払金	4,086	4,545	458
有価証券	14,984	15,511	527	その他	3,597	4,127	530
その他	4,927	4,870	△ 56				
				固定負債	6,613	7,600	986
固定資産	48,167	52,046	3,879	長期借入金	1,562	1,471	△ 90
有形固定資産	24,761	24,245	△ 516	繰延税金負債	1,714	2,825	1,111
（建物及び構築物）	4,779	4,352	△ 427	退職給付引当金	3,065	3,041	△ 24
（機械装置他）	12,629	12,125	△ 504	その他	271	261	△ 10
（その他）	7,352	7,767	414	負債合計	14,297	16,273	1,975
				少数株主持分	6,277	6,525	247
無形固定資産	784	780	△ 3				
				資本金	7,902	7,902	-
投資その他の資産	22,620	27,020	4,400	資本剰余金	8,260	8,260	0
（投資有価証券）	19,256	24,266	5,010	利益剰余金	32,826	34,176	1,350
（その他）	3,364	2,753	△ 610	その他有価証券評価差額金	1,460	3,595	2,134
				自己株式	△ 240	△ 256	△ 16
				資本合計	50,209	53,678	3,468
資産の部合計	70,784	76,477	5,692	負債・少株・資本の部合計	70,784	76,477	5,692

-
-
-

設備投資・減価償却費の推移 ‹‹連結››



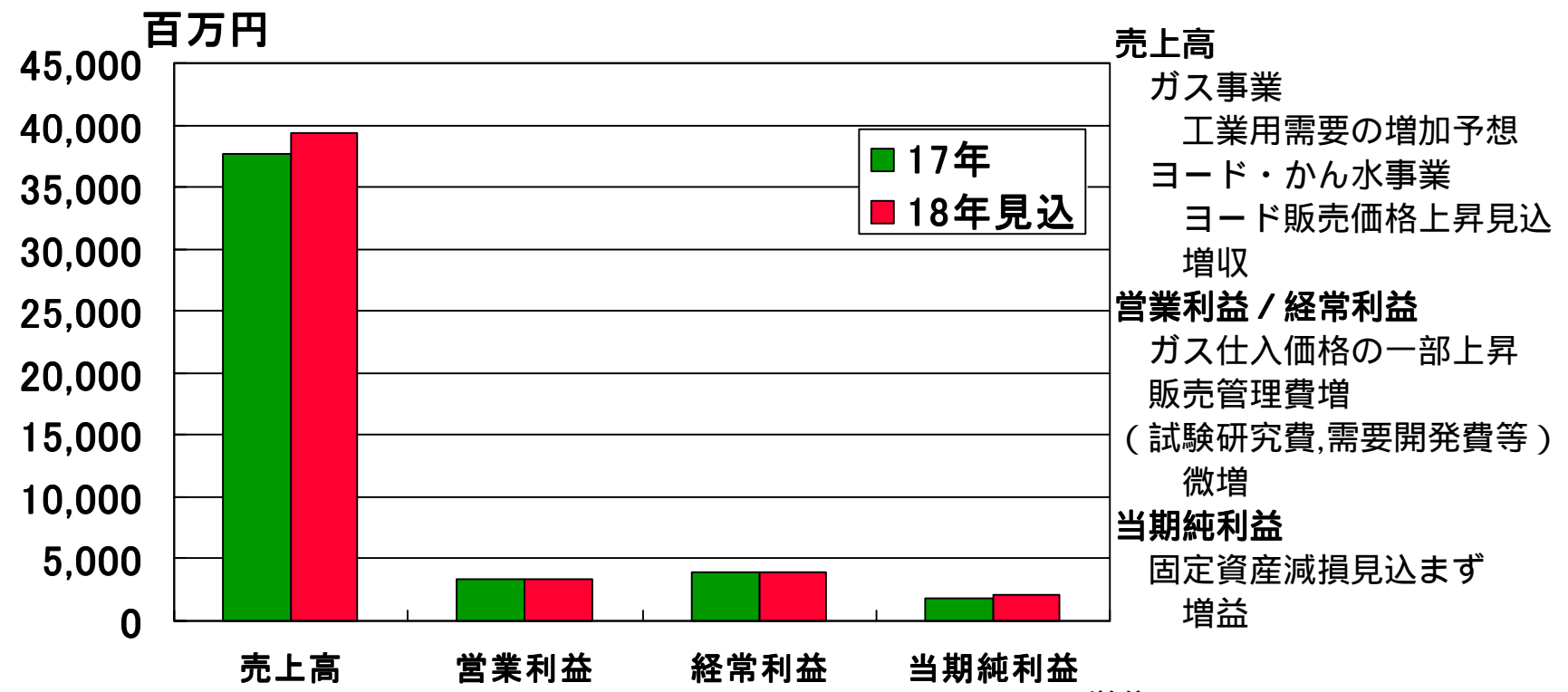
区 分	第140期	第141期	第142期	第143期	第144期	第145期
	13年	14年	15年	16年	17年	18年見込
設備投資額	2,782	3,368	3,800	3,335	2,875	4,530
減価償却費	2,796	2,850	2,941	2,959	2,870	2,538



-
-
-
-
-
-
-
-

-
-
-

平成18年収支見込概要《連結》



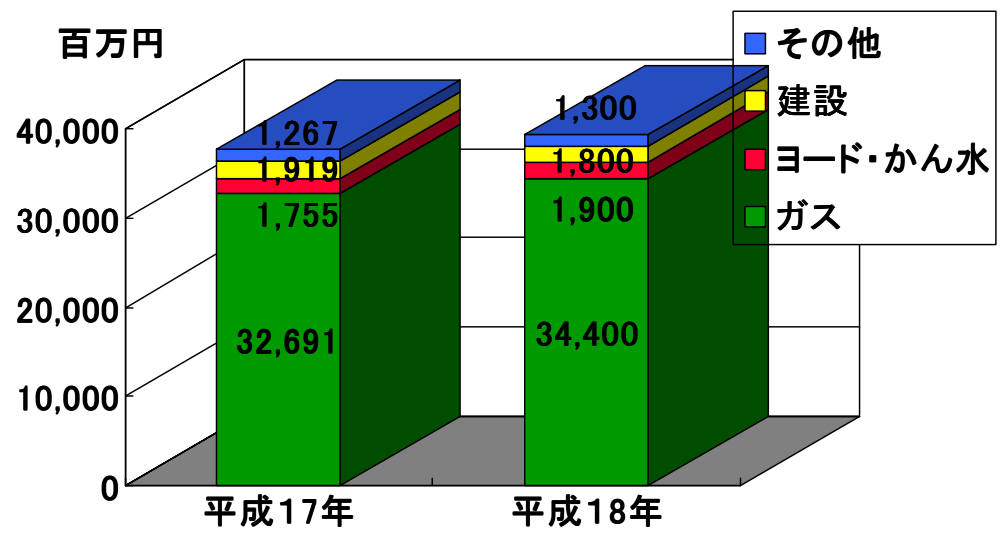
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
17年	37,633	3,377	3,995	1,816
18年見込	39,400	3,400	4,000	2,100
対前年比(%)	4.7	0.7	0.1	15.6



•
•
•

セグメント別売上予想(対前期)

セグメント別売上高



- 主な要因
- ガス事業
 - ・工業用需要による販売増
 - ・家庭用の需要も堅調
 - ヨード・かん水事業
 - ・旺盛なヨード需要
 - 建設業
 - ・ともに厳しい状況
 - その他の事業
 - ・ともに厳しい状況

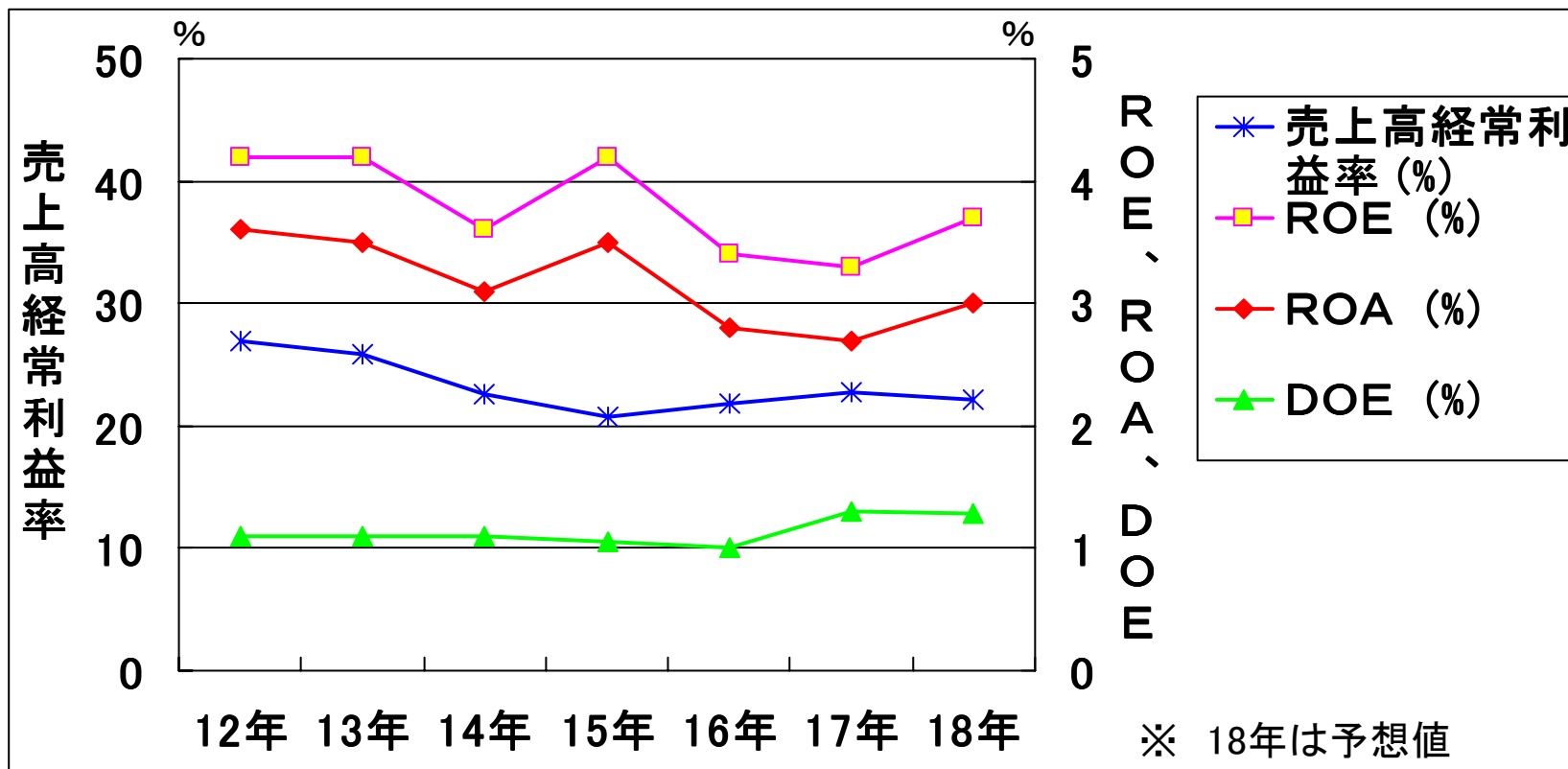
単位：百万円

	ガス	ヨード・かん水	建設	その他	合計
17年	32,691	1,755	1,919	1,267	37,633
18年見込	34,400	1,900	1,800	1,300	39,400
比較増減	1,709	145	△ 119	33	1,767

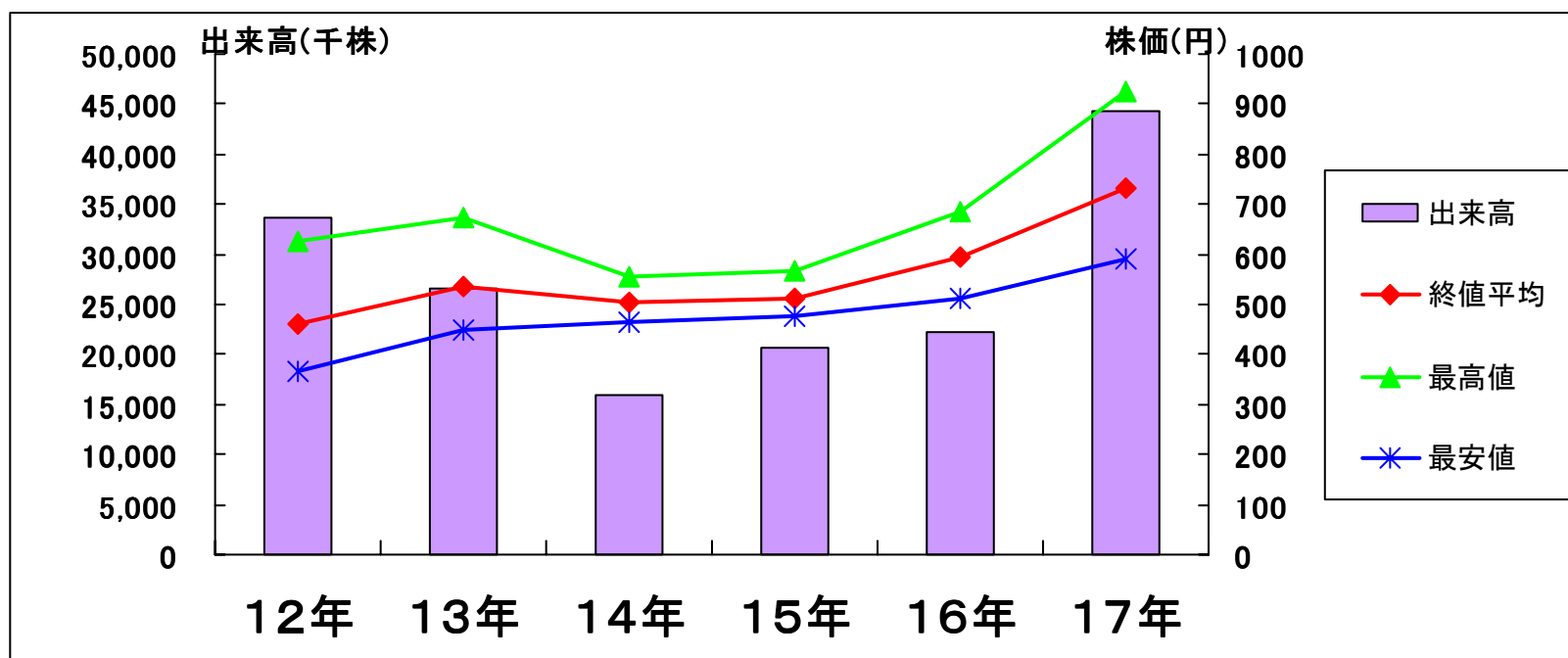


• • • • • • • •

ROE、ROA《単体》



株価及び出来高の推移



	12年	13年	14年	15年	16年	17年
最高値	625	674	556	567	684	(9/28) 925
最安値	368	447	464	476	513	(1/21) 591
終値平均	460	535	502	513	594	732
出来高	33,696	26,478	15,861	20,698	22,301	44,276

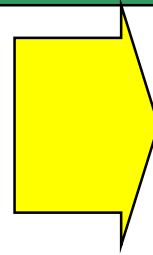
株主の異動

平成16年12月31日
〔株主数 5,453名〕

1	東京電力	(13,050千株)	21.39%
2	合同資源産業	(9,669千株)	15.85%
3	三井物産	(6,510千株)	10.67%
4	三井住友銀行	(2,614千株)	4.28%
5	※日本スタートラスト信託	(2,583千株)	4.23%
6	中央三井信託銀行	(2,338千株)	3.83%
7	SNFE MAC JAPAN	(1,847千株)	3.02%
8	※日本トラステイサービス信託	(1,626千株)	2.66%
9	ソシエテジェネラルバンク&トラスト	(1,245千株)	2.04%
10	千葉銀行	(912千株)	1.49%

注： ※は信託口

比率は出資比率



平成17年12月31日
〔株主数 5,573名〕

1	東京電力	(13,050千株)	21.39%
2	合同資源産業	(9,676千株)	15.86%
3	三井物産	(6,510千株)	10.67%
4	三井住友銀行	(2,614千株)	4.28%
5	中央三井信託銀行	(2,338千株)	3.83%
6	※日本トラステイサービス信託	(1,442千株)	2.36%
7	※日本スタートラスト信託	(1,255千株)	2.05%
8	ゴールドマンサックス インター	(1,123千株)	1.84%
9	バンク オブ ニューヨーク	(932千株)	1.52%
10	京葉瓦斯	(923千株)	1.51%

・
・
・

グループ経営理念と経営方針

グループ経営理念

— 天然ガスの生産と販売を中核に、
快適で豊かな生活の実現と社会の発展に貢献する —

グループ経営方針

- ・ コンプライアンスの遵守
- ・ 環境との調和、品質と安全の確保
- ・ お客様満足の追求
- ・ 企業価値の向上
- ・ チャレンジする職場風土の実現

-
-
-

各社の事業展開

グループ経営方針のもと、各社が法令を遵守し、競争力ある事業展開をはかる。

関東天然瓦斯 開発	環境との調和をはかりつつ、競争力ある天然ガスとヨードの開発・生産・供給に全力で取り組むとともに、天然ガス・ヨードとも新たな事業領域へ進出する。
大多喜ガス	エネルギー市場における競争激化に対応し、都市ガス事業者として安全・安定供給を基本としつつ、積極的な営業活動によりガス販売を拡大する。
関東建設	グループの信頼される工事会社として、工事品質を向上させる。 また、新たな技術の構築を図り外部売上を拡大する。
オータキ産業	LPGの特性を活かし、地理的・経済的条件から大多喜ガスでは対応が困難なお客様を対象に販売を拡大する。
テクノアース	地質汚染調査・対策事業とさく井事業を柱として、外部営業の強化により売上を拡大する。
房総コンピュータ サービス	グループのシステムセンターとして、グループ各社の競争力の維持強化に資するシステムの提案、開発及び運用を行なう。
開発興産	グループ内受託業務サービスの一層の充実化とともにリース事業の外部売上を拡大する。

-
-
-

各社の事業展開(2)

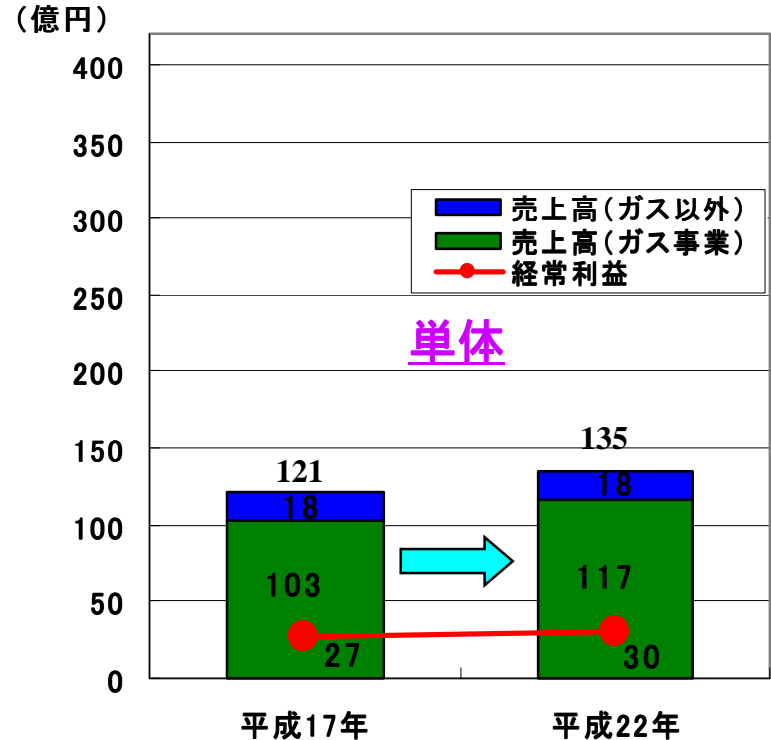
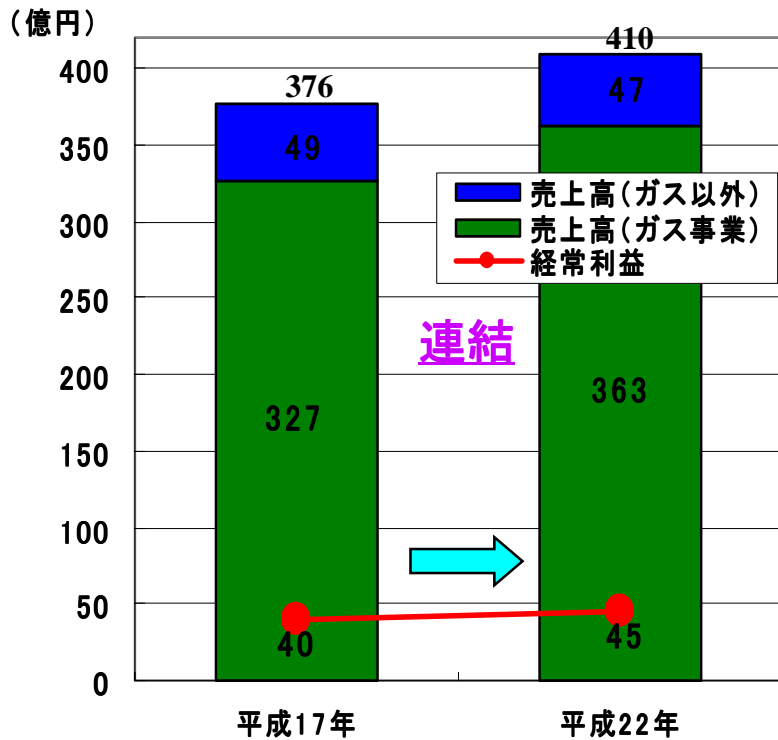
(グループ各社) (セグメント)	関東天然瓦斯開発	大多喜ガス	オータキ産業	関東建設	テクノアース	房総 コンピューター サービス	関発興産
ガス部門	天然ガス	都市ガス	圧縮ガス LPG				
ヨード・かん水部門	ヨード かん水						
建設・地質部門		ガス工事	ガス工事	土木建設	さく井 工事	地質 汚染	
サービス・器具販売部門		器具販売	器具販売			システムオペレ ーション・開発	リース保険 代理他



-
-
-
-
-
-
-
-

-
-
-

中期経営計画(平成18~22年)



平成22年時目標

連結売上高 410億円 (当期比 8.9%増)
 連結経常利益 45億円 (当期比12.6%増)
 連結設備投資 5年間で170億円
 連結ガス販売量 8.9億m³

単体売上高 135億円 (当期比11.8%増)
 単体経常利益 30億円 (当期比 9.6%増)
 単体設備投資 5年間で86億円
 単体ガス販売量 3.3億m³

-
-
-
-
-
-
-
-

配当政策

【基本方針】

長期的な安定配当と内部留保の充実

- ・景気変動に左右されにくい収益構造
- ・資源の安定供給のための内部留保の重要性

【17年配当】

従来の普通配当の年7円／株に加え、3円／株の75周年記念配当を決定

【18年配当】

普通配当を年7円／株から年10円／株に増額を予定

- ・中期経営計画策定の結果、年10円／株の配当が可能と判断

【1株当たり当期純利益／配当性向】

16年	22.58円	31.0%
17年	23.65円	42.3%
18年予想	27.59円	36.2%